

平成 30 年度 一高電気科卒業生

ジュニアマイスター顕彰制度

特別表彰 受賞

川越雄太(田野中)

資格 **24** 個 取得



東証一部
本田技研工業(株)内定

受賞者 Q&A

Q1 特別表彰を受賞しての感想

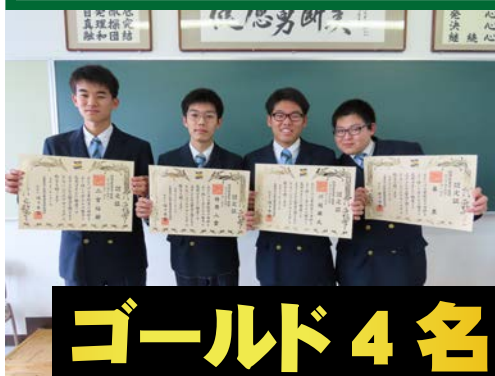
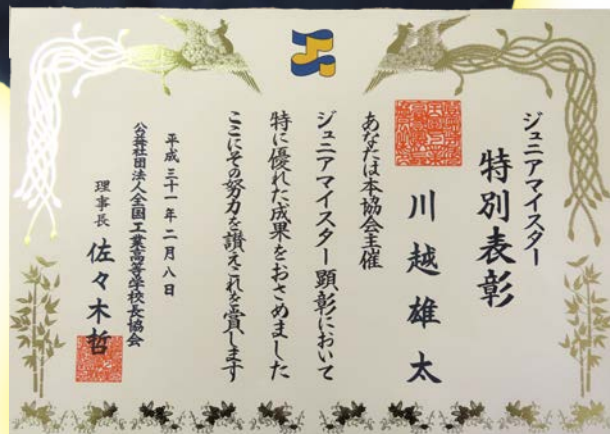
A1 2年の時にジュニアマイスターの特別表彰というのがあることを知り、受賞を目標に様々な資格に挑戦してきました。受賞できた時は嬉しさよりも受賞できてよかったという安堵感の方が大きかったです。

Q2 資格を取得するにあたって大事なこと

A2 いろんな資格に挑戦してきましたが、一番大事だと思うのは絶対取得するという根性とモチベーションですね！ずっとやっているとお飽きたり誘惑に負けそうになったりすることもあります。ですが、それよりも絶対取得したいと強く思い続けることができれば必ず取得することができます！

Q3 後輩へのアドバイス

A3 しっかり目標を持っていれば、今やらなければならないことが見えてくる。目標を見失うことなく、一生懸命努力をすれば必ず達成(取得)できます。大切なことは“次でなく今を一生懸命頑張る”ことです！頑張ってください！！



ゴールド 4 名



シルバー 12 名



ブロンズ 4 名

ジュニアマイスター顕彰制度とは？

公益社団法人全国工業高等学校長協会が主催している顕彰制度で全国の工業高校、工業系学科の生徒が各種国家資格や検定、講習などを取得した際に区分表で定められた点数を3年間加算していきます。その合計が20点以上でブロンズ、30点以上でシルバー、45点以上でゴールド、60点以上で特別表彰を受賞することができます。この特別表彰は、全国でも毎年100人程度しか表彰されない貴重な賞です。

近年電気科では、第1種電気工事士、危険物取扱者甲種をはじめとする難関国家資格に数多くの生徒が挑戦し合格しています。その結果、今年度は過去最高でクラスの半数を超える21名がジュニアマイスターを受賞しています。この賞は、難関国家資格に合格することよりも、3年間地道にコツコツと努力すること、失敗しても何度でも挑戦し続けること、仲間と切磋琢磨して上級資格に挑戦し続けることのほうが大事だということの評価してくれる証だと思います。また不合格だった時の悔しさ、合格したときの嬉しさ、達成感、安堵感など、資格取得を通して生徒一人一人の心の成長も見せてくれました。来年度以降も数多くの表彰者が出てくれることを期待しています。